

## 2 都民及び区市町村からの意見の反映

本プランの策定にあたって、都民ファーストの視点に立ち、都民の皆様や区市町村等からのご意見・アイデアを反映するため、都政モニターアンケートやパブリックコメント、区市町村調査を実施しました。

### 都民からの意見

#### 平成 28 年度第 5 回インターネット都政モニターアンケート

- 【調査期間】** 平成 28 年 10 月 26 日から 11 月 1 日まで  
**【内 容】** 「2020 年に向けた実行プラン」策定の参考とするため、都政モニター（回答数 466 人）によるインターネット調査を実施  
**【調査結果】** <http://www.metro.tokyo.jp/POLICY/TOMIN/monitor.htm>

#### 都民からの意見・アイデア募集（パブリックコメント）

- 【募集期間】** 平成 28 年 11 月 11 日から 11 月 25 日まで  
**【内 容】** 平成 28 年 11 月 11 日に「プランのコンセプトと主要政策の方向性」を公表し、意見等を募集  
**【受付数】** 507 人（個人：485 人（うち都立高校生等 331 人）、法人：22 社）  
**【意見数】** 1,687 件

### 区市町村からの意見

#### 意向調査①（平成 28 年 8 月実施）

- 【調査期間】** 平成 28 年 8 月 26 日から 9 月 15 日まで  
**【内 容】** 都内全区市町村（62 団体）に対して、プラン策定にあたっての意見等を照会  
**【受付数】** 25 区市町村 **【意見数】** 185 件

#### 意向調査②（平成 28 年 11 月実施）

- 【調査期間】** 平成 28 年 11 月 11 日から 11 月 25 日まで  
**【内 容】** 都内全区市町村（62 団体）に対して、平成 28 年 11 月 11 日に発表した「プランのコンセプトと主要政策の方向性」について、意見等を照会  
**【受付数】** 18 区市町村 **【意見数】** 60 件

## 都民・区市町村からのご意見・アイデア

いただいたご意見・アイデアのうち、主なものを以下により分類して掲載

- 1 「主要政策」等に関するご意見等（関連する主な掲載ページを記載）
- 2 「東京の理想の姿・未来の生活像」に関するご意見等
- 3 その他、様々なご意見等（ご要望、ご提案を含む。）

### 1 「主要政策」等に関するご意見等

	ご意見・アイデア	プランへの反映
セーフシティ	<b>（地震に強いまちづくり）</b> ○ 地震発生時、電柱の倒壊等により緊急車両の通行が妨げられ、災害救助等に支障が出ないように、道路の無電柱化を進めてほしい。 ○ 木造住宅密集地域の不燃化を進めてほしい。	・都道及び区市町村道の無電柱化(P51) ・木造住宅密集地域の不燃化と特定整備路線の整備(P53)
	<b>（自助・共助・公助の連携による防災力の向上）</b> ○ 地域の防災力向上、安全・安心の確保に向け、地域のボランティア活動を更に活性化してほしい。 ○ 避難場所となる体育館等に、断水時にも使用できるトイレ等を整備してほしい。	・自助・共助の促進による地域防災力の向上(P65) ・公助による防災対策の充実強化(P68)
	<b>（豪雨・土砂災害対策）</b> ○ 豪雨で急傾斜地が崩壊しないようにしてほしい。	・総合的な土砂災害対策(P77)
	<b>（都市インフラの長寿命化・更新）</b> ○ 安全・安心を確保するため、民間の管理者に対して点検や更新を積極的に行うよう指導してほしい。	・都市インフラの予防保全型管理及び計画的な更新(P81)
	<b>（まちの安全・安心の確保）</b> ○ オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた爆弾テロ対策を更に強化してほしい。	・爆弾テロ等から都民の生命・財産を保護(P88)
	<b>（まちの元気創出）</b> ○ にぎわいがあり活気に満ちた、安心して暮らせる地域づくりに向けた取組を推進してほしい。	・豊かな住生活と活力ある地域の実現(P95)
	<b>（多摩・島しょ地域のまちづくり）</b> ○ 幹線道路の整備や防災対策を推進してほしい。	・多摩・島しょ地域の防災(P103)
<b>ダイバーシティ</b>	<b>（子供を安心して産み育てられるまち）</b> ○ 待機児童の解消に向け、保育サービスの拡充、保育人材確保等に取り組むとともに、子供や子育て家庭のニーズを把握し、実態に即した施策を充実させてほしい。	・保育サービスの拡充による待機児童の解消(P110) ・子供と子育て家庭を支援する環境の整備(P112)

	ご意見・アイデア	プランへの反映
ダイバーシティ	<b>(高齢者が安心して暮らせる社会)</b> ○ 認知症の人や、その家族に対する支援を充実して ○ 介護人材確保に向け処遇等を改善してほしい。	・認知症に関する総合的な施策の推進(P120) ・サービスの担い手の確保(P120)
	<b>(医療が充実し健康に暮らせるまち)</b> ○ どこでも適切な医療が受けられるよう、必要な病床の確保や偏在是正など、医療を充実させてほしい。	・超高齢社会に対応した医療提供体制の整備(P126)
	<b>(障害者がいきいきと暮らせる社会)</b> ○ 障害者が、地域で働きながら自立した生活を送れるよう、雇用確保や就労支援を推進してほしい。	・障害者の雇用・就労等の促進(P137)
	<b>(誰もが活躍できるまち)</b> ○ ライフ・ワーク・バランスの充実に向けた働き方の見直しや、起業・創業、就労の支援などにより、女性や高齢者など誰もが活躍できるようにしてほしい。	・ライフ・ワーク・バランスの充実(P147) ・女性の活躍推進(P148) ・高齢者の多様な働き方の支援(P150)
	<b>(誰もが優しさを感じられるまち)</b> ○ 障害者や外国人等に対し、交通機関の円滑な利用や適切な医療提供、災害時の支援を拡充してほしい。 ○ LGBTなど多様な人権を受け入れられるまちにしてほしい。	・鉄道駅・都営交通のバリアフリー化(P162) ・情報バリアフリーや思いやりの心の醸成(P163) ・共生社会の推進(P166)
	<b>(未来を担う人材の育成)</b> ○ 子供たちが家庭の経済状況に左右されず、教育を受けられるよう、奨学金制度などを整備してほしい。	・全ての子供が学び成長し続けられる教育の実現(P176)
	<b>(誰もがスポーツに親しめる社会)</b> ○ 身近なスポーツ環境整備や障害者スポーツなどの普及のための取組を推進してほしい。	・スポーツしやすい環境整備(P192)
スマートシティ	<b>(スマートエネルギー都市)</b> ○ ビルやアパートなどでも太陽光発電の導入を推進してほしい。 ○ 水素ステーション*は、事業の採算が取りにくく設置が進まないため、更なる支援を行ってほしい。	・再生可能エネルギーの導入促進(P207) ・水素社会の実現に向けた取組の推進(P208)
	<b>(快適な環境都市の創出)</b> ○ 生ごみなどの資源化を推進してほしい。また、ごみのないきれいな街にするため、ポイ捨て、違法な張り紙に対する罰則を強化してほしい。	・“もったいない”(持続可能な資源利用)の推進(P218)
	<b>(豊かな自然環境の創出・保全)</b> ○ 屋上緑化等でまちの緑をもっと増やしてほしい。	・緑の創出・保全(P222)

	ご意見・アイデア	プランへの反映
スマートシティ	<b>（国際金融・経済都市）</b> ○ 中小企業の優れた技術・製品開発などを支援することで、産業の成長を促進してほしい。	・成長創出に向けた新たなイノベーションの創出（P231）
	<b>（交通・物流ネットワークの形成）</b> ○ 三環状道路は、放射方向の高速道路のバイパスとなり、東京の最大の弱点である交通渋滞の解消につながるため、早期開通に向け整備を促進してほしい。 ○ 満員電車の混雑解消や利便性の向上などに向け、鉄道ネットワークの充実に努めてほしい。	・道路ネットワークの形成（P248） ・鉄道ネットワークの充実（P252） ・快適通勤に向けた取組の推進（P153）
	<b>（多様な機能を集積したまちづくり）</b> ○ 都心部は、国際金融・経済都市としての都市機能、郊外は、自然と調和した住民の生活環境など各地域の特色を生かしたまちづくりを行ってほしい。	・拠点機能の充実・強化（P265） ・東京2020大会後の未来を見据えた都市づくりの推進（P264）
	<b>（世界に開かれた国際・観光都市）</b> ○ 東京2020大会を一つの契機に、東京の魅力を更に発信してほしい。 ○ 外国人が東京において快適な生活や滞在ができるよう、きめ細やかな受入環境を整備してほしい。	・東京の魅力発信と観光プロモーションの効果的な展開（P283） ・外国人旅行者の受入環境の向上（P287）
	<b>（芸術文化の振興）</b> ○ いつでも身近に文化芸術に触れ、気軽に活動ができる機会を増やしてほしい。 ○ 公共空間の活用促進、芸術文化の活動団体への支援を推進してほしい。	・あらゆる人々の創造的な芸術文化活動の支援（P302） ・芸術文化による都市の魅力向上（P301）
分野横断的な政策の展開	<b>（東京2020大会の成功に向けた取組）</b> ○ 東京2020大会は、国際観光都市・東京を世界に発信する機会であり、外国人旅行者の受入環境整備や気運醸成に向けた取組を推進してほしい。 ○ オリンピック・パラリンピック選手が、夢を実現する努力と継続力を若者に伝える取組を推進してほしい。	・東京2020大会等の着実な開催準備と開催気運の醸成（P306） ・オリンピック・パラリンピック教育の推進（P309）
	<b>（多摩・島しょ地域の振興）</b> ○ 多摩・島しょ地域の振興に取り組んでほしい。 ○ 多摩・島しょの貴重な自然環境を保全してほしい。	・多摩・島しょ地域の豊かな自然環境の保全（P319） ・島しょ地域の更なる魅力創出（P329）

**2 「東京の理想の姿・未来の生活像」に関するご意見等**

ご意見・アイデア	
東京の理想の姿・未来の生活像	「職・住・遊・学が近接し、一人ひとりが時間を自由に豊かに活用できる」、「多彩で先進的な文化が街の中にあふれている」、「地震が起こっても誰も犠牲にならない」、「どこでも、誰にとってもバリアがない」社会となってほしい。
	水質や景観などの水辺環境を改善し、住民や観光客がビーチで水遊びやマリンスポーツ等を安心して楽しめようにしてほしい。
	医療技術が更に進歩して、誰もが長く健康に暮らせるようになってほしい。
	インターネットの普及、ロボットの技術の進歩などにより、生活スタイルの変化、仕事の効率化が図られ、快適な生活を送れる社会になってほしい。

**3 その他、様々なご意見等（ご要望、ご提案を含む）**

ご意見・アイデア	
その他 様々な「意見等	科学技術の進歩（I o T、A I、自動運転等）が挙げられているが、道路整備や施設建設の早期化などの技術がより必要ではないか。
	施設や道路を整備する場合は、客観的でわかりやすいデータを示した上で、住民や自治体などと十分な議論を重ねてほしい。
	郊外では、道路など大規模なインフラ整備よりも、住民のつながりや地域コミュニティ、自然と触れ合える住環境などの方が大事だ。
	島しょ地域や過疎エリアで、ドローンを利用した物流の取組を推進してほしい。
	水素燃料の導入等にあたっては、安全性などの検証を十分に行ってほしい。
	清掃工場内で生ごみを堆肥・固形燃料化して、生ごみの焼却量を減らすなど、低炭素・資源循環型社会の実現のため、ごみ焼却方法を見直してほしい。
	都外に在住している都内在勤者、在学者等の声をもっと都政に反映させる仕組みを構築してほしい。
	都の総合計画の策定にあたっては、見える化を進めるとともに、もっと都民の意見を聞いてほしい。

## ★ 未来の東京を担う 若者からの意見・アイデア ★

### 都立高校生からの意見・アイデア（未来の生活像について）

- 自動運転技術等の進歩により、交通事故が起こらないまちとなっている。
- AIなどロボットを発達させて活用することも大事だが、機械より、人間の温かみを感じられる社会になってほしい。レジなど機械で行えば便利だが、人間が生きる社会なのだから、人間同士が関わりを持つことの方が大事だと思う。
- 通信機器が発達し、仕事にわざわざ電車に乗っていく必要がなく、家で仕事ができる。
- AIの発達や自動翻訳機の普及などにより、お互いの言語を知らなくても、グローバルな社会での交流や仕事ができるようになっている。
- 資源の枯渇について憂慮がいらぬ無限のエネルギー源を活用している。
- コンピュータが管理する安全なまちとなっている。
- ドローン等の小型ロボットが活躍している。また、空飛ぶ車が実現している。
- 健康を全てネットワークで完全管理されている。食事や精神状態も全て管理されており、ストレスフリーなまちになっている。

### 都立特別支援学校高等部生徒からの意見・アイデア（ダイバーシティについて）

- 人混みの中で白杖を使うと、周りから迷惑がられる。白杖を迷惑がられない社会になればよい。
- 自分と同じ障害を持つ人を含め、地域に住む障害者と交流する機会を増やしたい。
- 障害者が遠くまで通勤するのは大変なので、家の近くに障害者が働ける場所を増やしてほしい。
- 特例子会社以外の一般企業で、もっと障害者雇用を進めてほしい。働ける職種を増やしてほしい。
- もっと、自分が得意な所を伸ばせる授業を受けたい。